

令和5年度 第14回日本風景街道大学 宮崎本校

【話題提供】

「互産互生」による地域往来

1. 共通の歴史を発端にした静岡と北海道の往来(交流)事例。
2. 富士山麓の土着民と移住者による域内往来(交流)事例。

NPO法人日本風景街道コミュニティ 理事
NPO法人地域づくりサポーツネット 会長
一般社団法人しずおかスポーツプロモーション 理事長
合同会社互産互生機構 社員

【日本風景街道】

ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会 座長(ぐるり富士山風景街道)
二峠六宿街道観光協議会 会長(東海道「2峠6宿風景街道」)
浜松・浜名湖サイクルツーリズム推進会議 座長(浜名湖サイクルロード)

1960年代

1968年 静岡政経研究会 大石光之助(静岡新聞社社長) 勤務

1970年代

社団法人静岡政経研究会(公益法人化)
県内各都市に「都市フォーラム」設立 オピニオンリーダーによる提言活動

1980年代

静岡ニューメディア研究会(現・しずおか経営戦略セミナー)開始
SBSラジオ「静岡経済ウィークリー」(1988年~2008年1千回)
静岡県民間空港開設研究会 立ち上げ(空港開設運動開始)

1990年代

地域・産業研究所 開設
静岡地域学会 設立 (学際・職際・人際)
「静岡・未来・人づくり塾」(県主催)

2000年代

NPO法人地域づくりサポートネット 立ち上げ 手足つき・コミュニティ・シンクタンク
NPO法人全国街道交流会議 立ち上げ
日本風景街道 ・ぐるり富士山風景街道 ・“なごみの伊豆 なごみの道”風景街道
・浜名湖サイクリングロード ・東海道「駿河2峠6宿風景街道」
富士山静岡空港都市交流ネットワーク 立ち上げ

2010年代

合同会社 互産互生機構 設立
NPO日本風景街道コミュニティ 発足

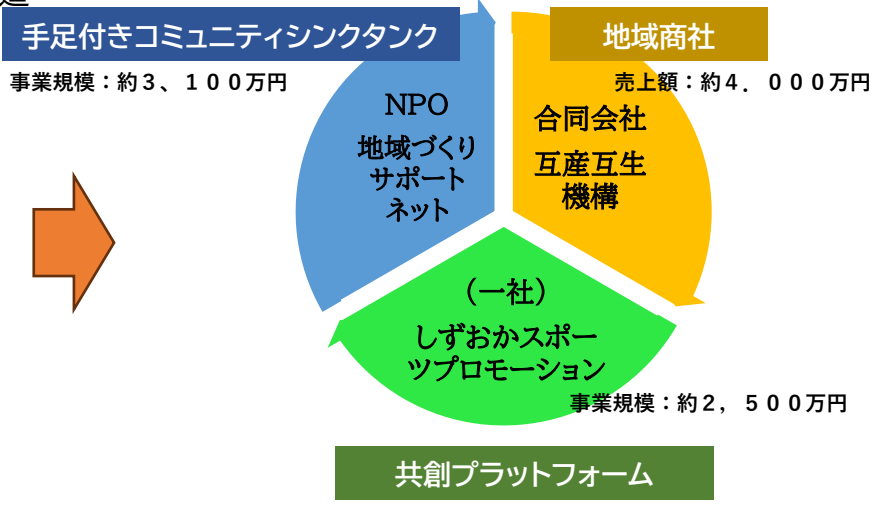
2020年代

一般社団法人 しずおかスポーツプロモーション 設立
旧街道自転車旅研究会 立ち上げ



新聞へ意見広告掲載
運動開始から24年後 2009年6月 富士山静岡空港 開港

2020年代の仕組み



往来(交流)で(経験的に)学んだこと

みち

道路

海路

空路

情路

物理的効果と心理的効果
“みち”で繋がる。

人が動けばモノと情報が動く。
モノが動けば人と情報が動く。
情報が動けば人と物が動く。

点と点は将来何らかの形で結びつく。

『大学にいた当時、将来を見すえて点と点を結びつけることは不可能でした。十年後に振り返ってみると、点と点が結びついたことがはっきりとわかりました。点が将来何らかの形で結びつく信じなくてははいけません』

スティーブ・ジョブズ スタンフォード大学のスピーチ

(多くの場合) 往来は片思いから始まる！？
往来の成果が見えるのを気長に待とう！



日本風景街道とシーニックバイウェイ
人脈と信頼のベースに！

『空の道』による往来の事例

静岡と北海道 帯広開拓の祖

依田勉三のご縁

互産互生

往来の原点

発端

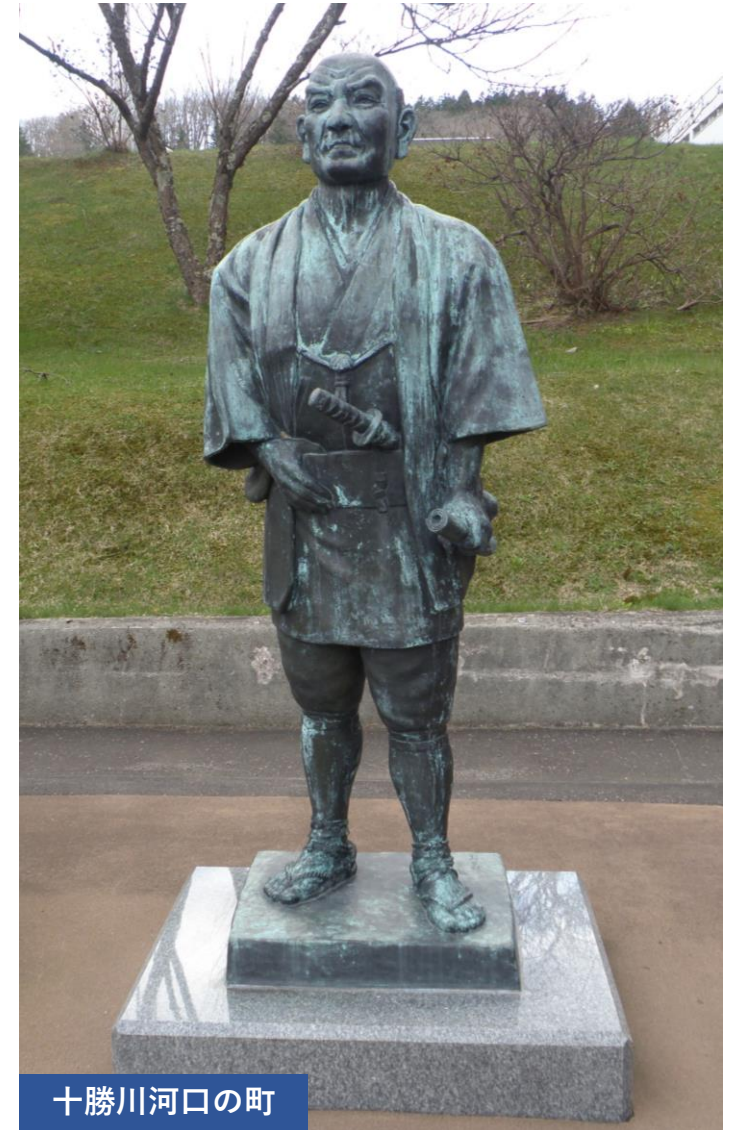
なごみの伊豆 なごみ道 風景街道

×

十勝シーニックバイウエイ
十勝平野・山麓ルート
トカプチ雄大空間
南十勝夢街道



十勝開拓の祖「依田勉三」
伊豆松崎出身



十勝川河口の町

十勝豊頃開拓の祖「二宮尊親」
二宮尊徳(金次郎)の孫



依田勉三を偲んで十勝川遡上？



鮭とば



ビート大根



十勝シーニックバイウェイの視察



「晩成社」 依田勉三住宅



掛川市「報徳社」とのご縁でに二宮尊親の功績を学ぶ



十勝シーニックバイウェイ3ルートとの交流会

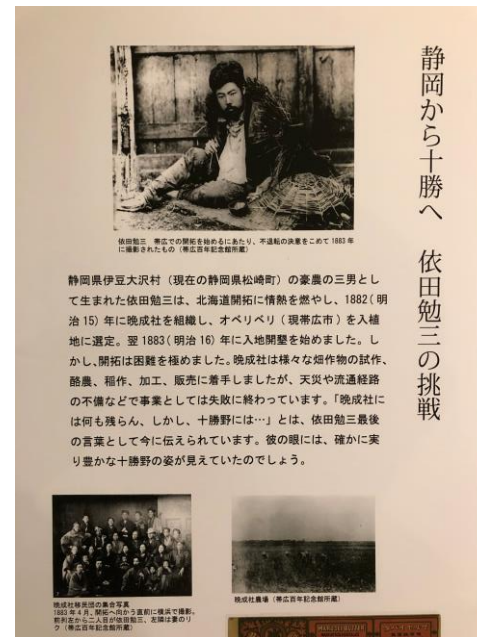
特産品の互産互消・地縁店の展開

サイクルツーリズム(自転車旅)で往来

北海道フェア

企業の参加

シーニックバイウエイの紹介と名産品販売





十勝の麦畑を走る



静岡の茶畑を走る

暮らしの風景
互産互生

静岡 十勝 『地縁店』展開プロジェクト
静岡県の物を北海道十勝地方で、北海道十勝地方の物を静岡県で販売しています。

物 販 交 流

二人がつなぐ
静岡と北海道十勝

北海道十勝地方には
静岡県と縁のある開拓者が二名います。
十勝地方帯広市の開拓の祖 **依田勉三**
十勝地方豊頃町の開拓の祖 **二宮尊親**
(二宮金次郎の孫)

この二人が静岡県と北海道十勝地方を
土地の縁で結びました。
静岡からの開拓者が創った
北海道十勝の味をお楽しみください

十勝地方
静岡県



東海道新幹線掛川駅構内
「これっしかどろ」



北海道豊頃町
「とよころ物産直売所」

【北海道・京都府・沖縄 産品相互販売】

- 北海道音更町「パピオ木野」
- 北海道帯広市「北海道ホテル」
- 北海道札幌市大通BISSEワゴンショップ
- 北海道札幌市キャボ大谷地/心美菜果
- 京都府丹後市「野木源」
- 静岡市「日本平ホテル」北海道フェア
- 沖縄県見城市瀬長島「ウミカジテラス47STORE」

合同会社
互産互生機構

【設立】平成28年9月

- 【目的】
1. ネットワークを形成する地域の生産現場や売場を検証、商品の相互販売と相互供給の実現（物流と商流の開発）。
 2. オリジナル商品の開発。
 3. ふるさと納税返納品づくりなど互産互消推進活動。

【所在地】静岡県掛川市

【社員】國分裕正(街制作室株式会社)、坂野真帆(株式会社そふと研究室)、佐藤雄一(コンセプト株式会社)、田中孝治(地域・産業研究所)、為廣正彦(株式会社更別企業) 知久利克(株式会社知久)、中田繁之(株式会社これっしかどころ)、原文宏(一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター)、平野正俊(キウイフルーツカントリーJapan) 不動直樹(幸楽輸送株式会社)、山内秀彦(株式会社東海まちづくり研究所)、松山拓哉(株式会社マツヤマデザイン)

【出資金】100万円

【売上】約4,000万円

コンセプト

お互いの あるもの ないものを
認め合い 求めあい 活かし合う
新次元の地域間交流を進めます。

Food
Tourism
Lifestyle

食卓 フードの交換
観光 ツーリズムの交歓
生活 ライフスタイルの交感



北海道の生産農家と直接取引

9月～ 5月 道央 玉ねぎ
10月～ 7月 十勝 男爵芋
10月～ 12月 オホーツク 人参



株式会社知久
静岡県内を中心に東京、神奈川など50店舗
「食は命の源」健康総菜、弁当の知久屋

KACHI EETS IZUOKA

とかち・ミーツ・しずおか

3.2/9(木) → 15(水)

等で出会う、
しずおか。

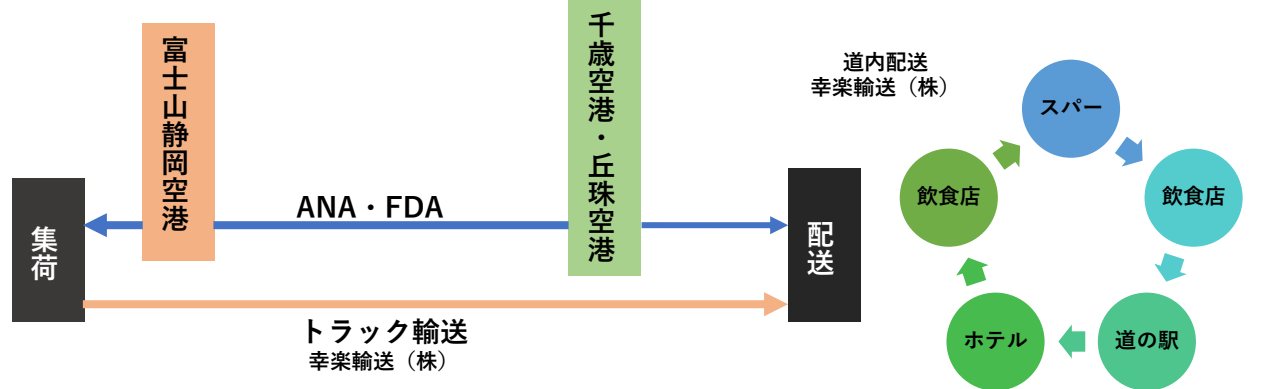
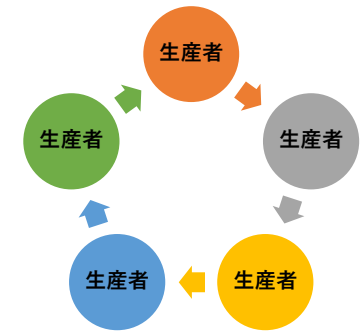
とかち物産センター

北海道では希少な静岡県産の農水産品と加工品を

「北の屋台」が静岡の生産者を訪問



十勝・帯広へ輸送・配送



しずおか・とかち「互産互生」往來の仕組み

生産と販売 双方向あり



静岡の特産品帯広集結
農産物など販売、北の屋台でも
静岡の特産品フェア「日」に開催。センターで
200名が15日まで、帯
広市の「かち物産センター」
「十勝農産スタメン2」
開拓の静岡は、十勝
開拓の静岡は、十勝
古里で、食を切り口に十勝
と交流を深める取り組み

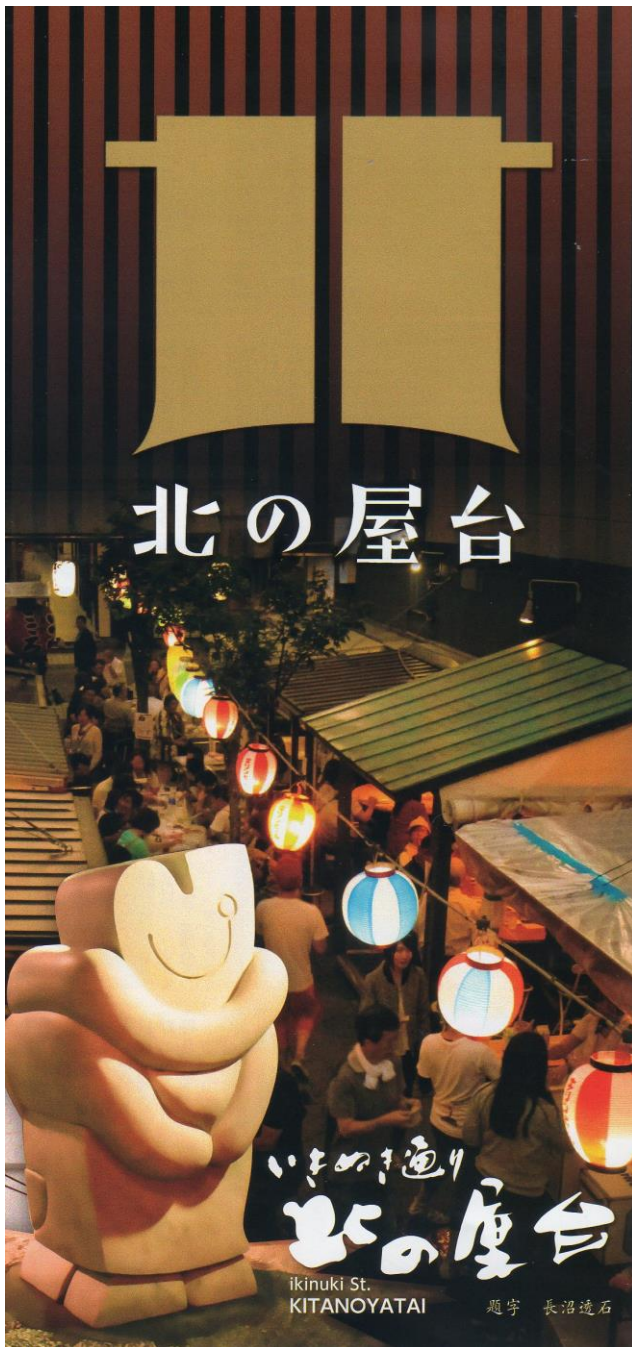
「日」に開催。センターで
200名が15日まで、帯
広市の「かち物産センター」
「十勝農産スタメン2」
開拓の静岡は、十勝
開拓の静岡は、十勝
古里で、食を切り口に十勝
と交流を深める取り組み

静岡の特産品フェア「日」に開催。センターで
200名が15日まで、帯
広市の「かち物産センター」
「十勝農産スタメン2」
開拓の静岡は、十勝
開拓の静岡は、十勝
古里で、食を切り口に十勝
と交流を深める取り組み



十勝・帯広市の行政・商工関係者と懇談

帯広の「北の屋台」19店で独自メニューの開発 毎年開催へ！！



「北の屋台」全店が独自メニューを開発
大好評！毎年恒例に。

ぐるり富士山風景街道 朝霧高原(静岡県富士宮市)の景観活動 地域力の往来 人の往来・知恵と技術の往来・お金の往来



地域住民による道路景観管理
朝霧高原道路景観管理協議会 (道路協力団体)

国道139号



平成19年度 国土交通省社会実験(公募型)
「朝霧高原見晴らしホリンシステム実験」

富士山頂を目指すだけが富士山の魅力ではない。
富士山麓の暮らしと風景を楽しむ歩き旅(富士山一周トレイル)



平成23年度 国土交通省社会実験(公募型)
「富士山すっきり集約サイン実験」

富士山世界文化遺産登録に向けた景観向上。
“この看板は富士山に似合いますか”
老朽看板の撤去と集約化。
公共看板、率先して整理、撤去。

平成26年度 国土交通省社会実験(公募型)
「地域力を活かした富士山の包括的な道路管理に向けた実験」

1. ヒューマンファンドの実験
2. テクノロジーファンドの実験
3. マネーファンドの実験



道路協力団体制度へ！！

みちと地域のテーマを探し
公募型社会実験に申請！！



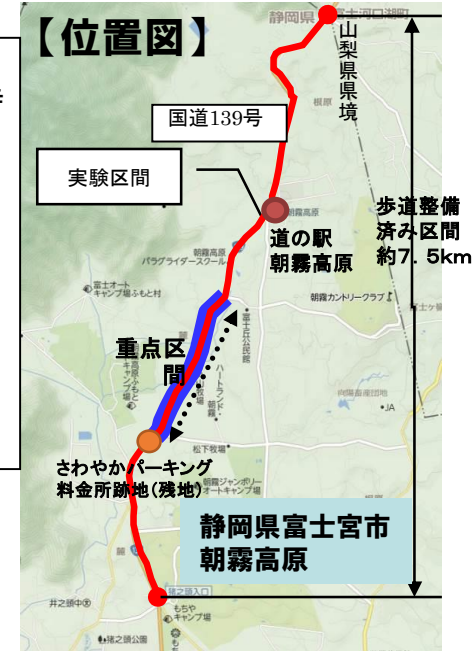
地域の課題

- 道路の維持管理費の予算削減により、安全管理だけでなく景観管理ができていない。
- 地域の担い手も継続的な管理には、無償のボランティアでは限界。
- 富士山の世界文化遺産にふさわしい景観や環境維持が必須。

【実験の内容】

- 1 地域力を活かした包括的な道路景観管理社会実験
 - ① 牧場や農林業の技術力活用と包括管理委託による持続可能な景観管理実験
 - ② 住民のプチメンテナンスによる景観管理実験
- 2 道路景観管理ファンドの仕組みづくりと試行
 - ① ヒューマン・ファンド(人材のストック)
 - ② テクノロジー・ファンド実験(技術力の登録)
 - ③ マネー・ファンド実験(維持管理活動の資金開発)
 - クラウドファンディングによる募金活動(試行)
 - 古本回収による募金活動(試行)
 - 富士山朝霧高原・シーニック・マルシェシステム試行

【位置図】



【実験のイメージ】

② 道路等を活用した景観管理の資金確保



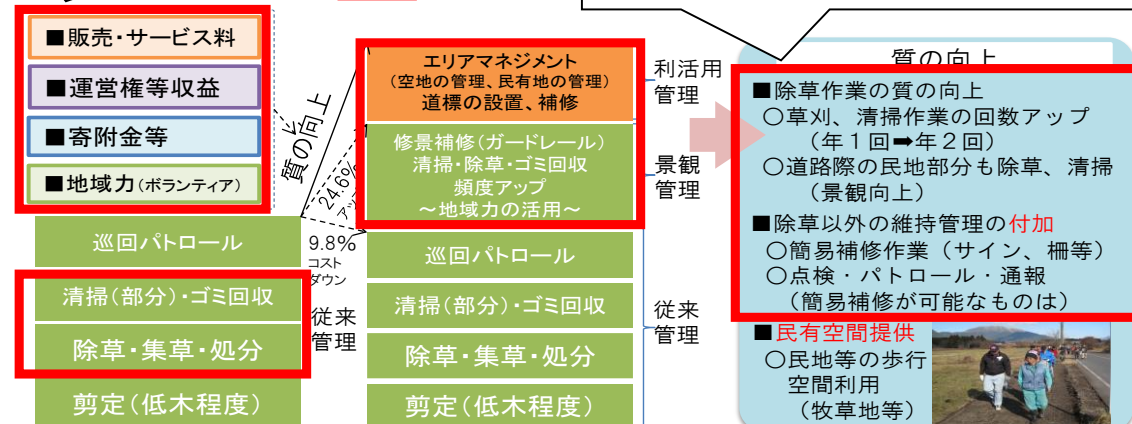
① 地域力を活かした景観管理



解決策

景観管理のための3つのファンド(人・技術力・活動資金)活用

- ① 住民ボランティアに加え、酪農や農林業従事者が景観管理に機械や技術力を活用
- ② 道路を活用した持続可能な維持管理活動の費用確保のための仕組みづくり



富士山世界文化遺産(登録10周年)と2020東京オリパラのレガシー(遺産)活かす。

ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会 2023年8月31日 発足



2020東京オリパラ ロードレースコース
サイクリストの聖地
オリパラコースと3本のヒルクライムコース



ロコガイドのガイド講習会



富士山麓の風景と生産者を回るガイドツアー

令和3年(2021年)7月21日(水曜日)

ぐるり富士山 自転車ルート

国指定へ矢羽根整備

道の駅や観光施設結ぶ70キロ

県、市町など連絡会 本県側設定

富士山麓の市町と県、国土交通省との「ぐるり富士山サイクルルート」の整備は、はじまると見られる。県は、このルートに沿って、道の駅や観光施設を結ぶ70キロのサイクルルートを整備する。このルートは、富士山を一周するサイクルルート「ぐるり富士山サイクルルート」の一部で、県は、このルートを整備する。このルートは、富士山を一周するサイクルルート「ぐるり富士山サイクルルート」の一部で、県は、このルートを整備する。

富士山を一周するサイクルルート「ぐるり富士山サイクルルート」の一部で、県は、このルートを整備する。このルートは、富士山を一周するサイクルルート「ぐるり富士山サイクルルート」の一部で、県は、このルートを整備する。

このルートは、富士山を一周するサイクルルート「ぐるり富士山サイクルルート」の一部で、県は、このルートを整備する。このルートは、富士山を一周するサイクルルート「ぐるり富士山サイクルルート」の一部で、県は、このルートを整備する。

このルートは、富士山を一周するサイクルルート「ぐるり富士山サイクルルート」の一部で、県は、このルートを整備する。このルートは、富士山を一周するサイクルルート「ぐるり富士山サイクルルート」の一部で、県は、このルートを整備する。





「地域住民にも沿道風景を守る責任があるのでは！？。」

故中島邦夫さんの言葉

沿道風景を楽しませてもらっている我々にも地域産業の振興に役立つ役割があるのではないか？

富士山朝霧高原をぐるっと体験！農畜産業等と結び付けた「アウトドアスポーツツーリズム」の商品造成及び提供 【静岡県富士宮市】

事業の概要

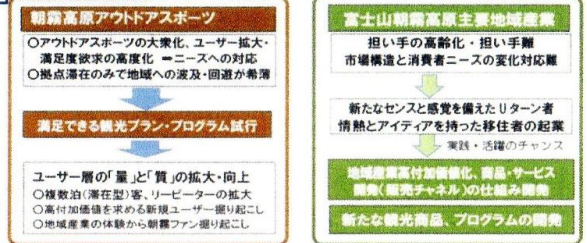
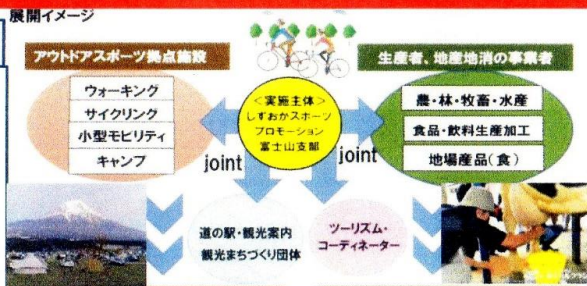
富士山朝霧高原の雄大な風景と畜産・農林業・養鱒業など地域産業とキャンプ、サイクリング等のアウトドアスポーツを結び付け、核となるキャンプ場等で提供する「付加価値の高いアウトドアツーリズム」をテーマとし、ターゲットである生活にゆとりあるファミリーやアクティブシニアなどの感性にこえるようなアウトドア体験型観光プログラムに磨き上げることを工夫する。また、経営感覚を持った移住者等のビジネスチャレンジを地域ぐるみ応援し、継続発展への地域ツーリズムのモデルをつくる。

実施体制

実施主体	<p>一般社団法人しずおかスポーツプロモーション 富士山支部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施主体：結び付け（機会と場）、メニュー開発 ◆核となる集客施設（アウトドア観光メニュー提供）：ふもとっぱらキャンプ場、まかいの牧場、他 ◆地域事業者（体験、食材販売、飲食提供）：富士あさぎり農業組合、白糸滝養鱒場、富士ミルクランド、なかとみ牧場、朝霧高原あおぞらピッツァ、七福チーズ工房、えいちのむら、他 ◆ツーリズムコーディネーター：（社）エコロジック Enya、ふもとっぱら ◆情報発信等：富士宮市観光協会、道の駅朝霧高原、富士山麓会、ロケ地応援団！富士宮、三栄書房（アウトドアファッション誌GO OUT発行）、富士山朝霧高原景観管理協議会（道路協力団体）
連携団体との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ◆アウトドアスポーツと畜産、農林業、養鱒など地域産業を結び付ける体験プログラムの提供。 ◆満足度が高いアウトドアスポーツユーザーのニーズに応える商品やサービスの開発と販売チャネル提供。 ◆ツーリズムコーディネーターの「満足度が高いアウトドアスポーツ」のメニュー提供と楽しみ方のガイド。 ◆時代の事業継承者・移住者など新規事業参入を地域ぐるみで応援。自立への道筋づくり。
地域を挙げて観光コンテンツを磨き上げるにあたって工夫する点	<ul style="list-style-type: none"> ◆アウトドアスポーツと畜産、農林業、養鱒など地域産業を結び付ける体験プログラムの提供。 ◆満足度が高いアウトドアスポーツユーザーのニーズに応える商品やサービスの開発と販売チャネル提供。 ◆ツーリズムコーディネーターの「満足度が高いアウトドアスポーツ」のメニュー提供と楽しみ方のガイド。 ◆時代の事業継承者・移住者など新規事業参入を地域ぐるみで応援。自立への道筋づくり。

「新しい生活様式」の実践に向けて工夫する点

- ・新型コロナウイルス感染症に関する対応指針遵守 < 宿泊施設・観光施設用 > （静岡県観光政策課）
- ・宿泊施設・観光施設における感染拡大防止対策チェックリストを遵守（静岡県観光政策課）
- ・キャンプ場における新型コロナウイルス対応ガイドラインを遵守（一般社団法人日本オートキャンプ協会）



- ### 観光資源の磨き上げ
1. キャンプユーザーによる地域産業 → 小型モビリティで周遊・農林畜産体験ツアーの観光プログラム（E-BIKE サイクリング・電動キックバイク）
 2. 朝霧高原の農林畜産物 → 生産農家等を巡るキャンプ食キャンペーン（食材調達「テイクアウト」& 現地アウトドア体験セミナー）
 3. 若手起業家等 → 朝霧アウトドア・フード・マルシェ開催（出張移動販売）

アウトドアスポーツによるモビリティ

生産現場等で提供する付加価値商品

地域の現状・課題および事業実施により期待される効果

■ 地域の現状や課題

- ◇アウトドアスポーツの大衆化の中で、質の高い満足度を求めるユーザーに地域や事業者が応え切れていない。
- ◇富士山麓の自然や酪農の景観、地域の農畜産物等を観光に活かしていない
- ◇地域事業者の高齢化、後継者不足。
- ◇新経営感覚を持つ意欲的な後継者、移住者等が商品の販売チャネル不十分。

■ 課題解決策

- ◇核となる集客施設を介し、付加価値が高いサービスを求める観光客と意欲的な地域事業者を結び付けるためのメニュー開発と提供。
- ◇若手起業家等の自立、継続発展のため地域ぐるみ応援の仕組みが必要。

■ 期待される効果

- ◇地域の滞在日数や地域消費額の拡大、リピート率アップ。
- ◇付加価値の高い観光を求めるユーザーの掘り起こし
- ◇地域産業に付加価値をつけ、地域周遊体験・滞在型の観光商品が造成。
- ◇地域の担い手に商品・サービスの販売チャネルの提供。自立・発展の道筋。

次年度以降の取組

- ◇本件で蓄積したノウハウをもとに、自立・発展型の組織「朝霧高原アウトドアスポーツ機構」（仮称・地域版スポーツDMO）の立ち上げを目指す。
- ◇地域事業者が変化を続けるユーザー・ニーズへ柔軟に対応、加えて新たな楽しみ方を提案するためアウトドアツーリズム・コーディネーターの育成と組織化。



地付きの人
Iターン・Uターンの人
移住した人

と、地域の
農業・林業・酪農・酒蔵
ワイナリー、養魚・飲食

キャンスポプロジェクト



事業の概要

富士山世界文化遺産の登録10周年を迎え、“富士山”が育んだ自然、宗教、芸術、産業、暮らしの文化を訪ね、世界遺産をサイクリングやウォーキングなどのアクティビティで巡り、富士山的美・祈りの源泉に加え、あまり知られていない山麓の暮かさを当て、本当の富士山の姿をじっくりと体感するアドベンチャー型ヘリテージツアーのコンテンツを造成する。

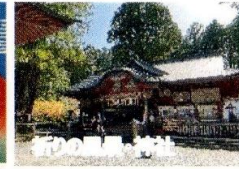


<p>実施体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■実施主体：ぐるり富士山サイクルネット協議会（代表：一社）しずおかスポーツプロモーション ■構成団体：ぐるり富士山風景街道アクションネットワーク、静岡二峠六宿街道観光協議会、一社）富士五湖観光連盟、富士急行(株)、富士急トラベル(株)、(株)時之栖、(株)ふもとつばら、朝霧ハイランド(株)、ドリームプラザ(株)、富士山清水港クルーズ(株)、株式会社日本平ホテル、静岡県サイクルツーリズム協議会 ■連携自治体：静岡県静岡市、富士宮市、御殿場市、小山町、山梨県富士吉田市、富士河口湖町
<p>地域の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山にはコロナ前、内外から多くの観光客を迎えたが、インバウンド観光は中国人観光客の比率が極めて高く、内外ともに日帰り、立ち寄り型の観光客が多く観光消費額が少ないという問題があった。 ・富士山の知られた魅力だけでなく、山麓の暮らしに息づく優れた資源がインバウンド客に知られず、活かしていない。 ・静岡県・山梨県の両県による自転車旅（サイクルツーリズム）などアドベンチャーツーリズムに取り組んでいるが、アドベンチャー+αの体験コンテンツを組み合わせた商品づくりができていない。 ・富士山麓は、インバウンドを主対象とする体験型ツアーを受け入れる地域の「ランドオペレーター」が育っていない。
<p>造成するインバウンド向け観光コンテンツの内容</p>	<p>1. 富士山世界文化遺産(美と祈りの源泉)を現代の山麓文化や暮らしを通して提供するコンテンツ造成</p> <p>①美の源泉（現代版富岳三十六景—絵画、写真、文学に描かれた舞台や風景）を訪ねるコンテンツ ②祈りの源泉（山麓に点在する浅間神社、遺跡など）日本人の祈りの場と姿を訪ねるコンテンツ</p> <p>2. 富士山世界遺産エリアの“暮らし”を体感するコンテンツ造成（もう1泊2泊してもらうためのコンテンツ）</p> <p>①富士山麓の風土&フードを訪ね味わうコンテンツ造成（伝統食、郷土の麺食、スイーツ） ②富士山の水の恵みを味わう酒蔵&ワイナリー、お茶を巡るコンテンツ（地酒蔵元、ワイナリーとブドウ畑、呈茶） ③富士山麓の伝統工芸（郡内織物やスズ竹工芸）や地域産業（農畜産業、製紙、缶詰）の体験コンテンツ ④富士山麓に広がる茅場文化の風景と茅葺建築を訪ねるコンテンツ（古民家、茅葺集落など）</p> <p>3. 富士山世界遺産エリアを満喫する周遊型ツアー造成 ※コンテンツ1と2を組み合わせるツアー</p> <p>①山：富士山麓の魅力を探る「歩く・自転車」のアクティビティと鉄道・バスを組み合わせる周遊コンテンツ ②海：駿河湾の魅力を探る「歩く・自転車」のアクティビティと鉄道・船・バスを組み合わせる周遊コンテンツ</p>
<p>アピールポイント（独自性、地方誘客や観光消費拡大への効果など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の象徴「富士山」を抱える静岡県・山梨県の観光事業者、行政、市民団体が三位一体となり、世界遺産登録10周年を機に、世界遺産の美と祈りに加え、あまり知られていない山麓の暮らし・営みにフォーカスを当てて、その資源をインバウンド対応の観光コンテンツ（アドベンチャー型の体験商品）として磨き上げる。 ・ツアーは富士山麓を自転車、ウォーキング、観光バス、クルーズ船などで巡りながら、複数日（4 DAY、5 DAY）で周遊・滞在し、地元消費の拡大を図る。
<p>スケジュール</p>	<p>6月中旬～ 観光コンテンツ企画開発、動画・WEBサイト制作 8月下旬～モニターツアー募集 10月～11月 観光コンテンツによるインバウンドモニターツアーの実施 10月～12月 モニターツアーの検証、観光ツアー商品の造成（台湾向けの商品造成から開始）</p>

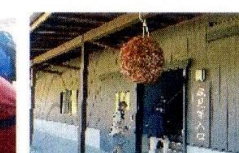
これまでに活用した観光庁事業

看板商品創出事業	
域内連携促進事業	
誘客多角化事業	

■美と祈りの源泉を訪ねる



■山麓の暮らしを体感



■富士山世界遺産エリアの周遊



縁故旅行に注目

富士山麓の暮らしの風景を満喫

富士山頂を目指すだけが富士山の魅力ではない！

オーバーツーリズムとゼロドルツアーの課題